

2016年10月21日

神奈川県知事 黒岩祐治様

NPO 法人神奈川県自然保護協会
理事長 藤崎英輔

江の島 聖天島の保全について（要請）

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催にあたり、江の島がセーリング競技会場として使われることになりました。

風光明媚な江の島の自然が世界の人々から注視される誠によい機会であると共に喜ぶたいと存じます。

ところで、先の1964年東京オリンピックの時、同じくセーリング会場になった江の島では会場造成のために大規模な埋め立てが行われました。多くの自然が失われたことは残念でしたが、その時に島内外の人々の信仰の対象であった聖天島は埋立地の中にありながら現状で保存されたことは当時の担当者の英断として評価するところです。

この聖天島が、この度崩落の危険を避けるためにコンクリートで固める構想があると聞き及びましたが、下記の理由により再考をお願いします。

危険防止のための対策は必要ですが、その方法については地質専門家を交えて慎重に対応されることを強く要請します。

記

- 1 江の島は、神奈川県の地質的成り立ちを伝える重要な存在であり、聖天島に見る露頭は、それを観察できる重要な場所のひとつである。そのために地質を学ぶ学生だけでなく、多くの人にとって学習の場となっていること。
- 2 聖天島は、先の東京オリンピックにあたり江の島港を整備する際、信仰の対象としての他上記のような理由により残された、いわば神奈川県の民俗・地質的遺産であり、将来に向かって保全の努力をしなければならないものであること。
- 3 聞くところによると崩壊対策は藤沢土木事務所により検討されたということですが、地質専門家の意見は聞いていないということで、文化財としての価値をどのように評価したのか疑問。このまま計画を進めるのは暴挙であること。
- 4 2020年オリンピック・パラリンピックで再び海外から多くの人を訪れるこの江の島に、私たちが努力して守っている文化遺産が存在する事は、世界に向けて神奈川県の評価を高めることになるよい機会であること。

◎ なお、同文は神奈川県教育長宛にも提出しました。

当要請に対する回答は下記をお願いします。

〒243-0816 厚木市林5-15-10

NPO 法人神奈川県自然保護協会

Tel & Fax 046-222-2356